
付 録

歴代市長・副市長・助役・収入役

市長

氏名	就任年月日	退任年月日
高下 重平	昭和34年2月1日	昭和38年5月1日
石井 正雄	昭和38年5月2日	昭和50年5月1日
遠藤 嘉一	昭和50年5月2日	昭和62年5月1日
井上 孝俊	昭和62年5月2日	平成7年5月1日
土屋 侯保	平成7年5月2日	平成19年5月1日
大木 哲	平成19年5月2日	令和5年5月1日
古谷田 力	令和5年5月2日	

副市長

氏名	就任年月日	退任年月日
平松 博	平成19年7月1日	平成21年6月30日
井上 昇	平成20年4月1日	令和5年5月1日
清水 和男	平成22年4月1日	平成26年3月31日
伊部 啓之	平成26年4月1日	平成30年3月31日
金子 勝	平成30年4月1日	令和3年4月13日
小山 洋市	令和3年5月10日	
樋田 久美子	令和5年5月19日	

助役

氏名	就任年月日	退任年月日
遠藤 嘉一	昭和34年2月1日	昭和36年11月14日
青木 義徳	昭和36年11月16日	昭和38年5月21日
金子 正雄	昭和38年6月20日	昭和42年6月19日
遠藤 嘉一	昭和42年7月1日	昭和49年10月2日
山口 芳雄	昭和49年10月12日	昭和53年10月11日
小菅 章男	昭和53年10月12日	昭和61年10月11日
関水 隆信	昭和61年10月12日	昭和62年6月18日
古木 啓介	昭和62年6月20日	平成3年6月19日
角田 寅男	平成3年6月21日	平成7年6月20日
若林 伸治	平成7年6月21日	平成13年8月10日

平成14年7月1日「大和市助役を置かないことの条例」の施行

収入役

氏名	就任年月日	退任年月日
青木 義徳	昭和34年2月1日	昭和36年11月15日
山口 芳雄	昭和36年11月16日	昭和49年10月11日
加藤 善作	昭和49年10月12日	昭和53年10月11日
中丸 渉	昭和53年10月12日	昭和58年10月10日
関水 隆信	昭和58年11月3日	昭和61年10月11日
伊沢 昭三	昭和61年10月12日	昭和62年6月18日
小林 明次	昭和62年6月20日	平成3年6月19日
高下 晃次	平成3年6月20日	平成7年6月19日
柴田 英輔	平成7年6月20日	平成15年6月19日
鎌田 大作	平成15年6月20日	平成19年3月31日

改正地方自治法の施行により平成19年3月31日限りで廃止

資料：市長室秘書総務課

歴代正・副議長

議 長

代順	氏名	就任年月	退任年月	代順	氏名	就任年月	退任年月
初代	下 田 兼 治	昭和34年 2 月	昭和34年 4 月	41代	中 村 晴 良	平成10年 5 月	平成11年 5 月
2 代	加 藤 喜太郎	昭和34年 5 月	昭和35年 7 月	42代	伊 東 孝 雄	平成11年 5 月	平成12年 5 月
3 代	二 見 長 昌	昭和35年 7 月	昭和36年 7 月	43代	池 田 俊一郎	平成12年 5 月	平成13年 5 月
4 代	二 見 長 昌	昭和36年 7 月	昭和37年 7 月	44代	石 井 一 夫	平成13年 5 月	平成14年 5 月
5 代	木 村 正 雄	昭和37年 7 月	昭和38年 5 月	45代	前 田 邦 壽	平成14年 5 月	平成15年 5 月
6 代	二 見 長 昌	昭和38年 5 月	昭和39年 6 月	46代	綱 島 啓 司	平成15年 5 月	平成16年 5 月
7 代	二 見 長 昌	昭和39年 6 月	昭和40年 6 月	47代	荻 窪 幸 一	平成16年 5 月	平成17年 5 月
8 代	加 藤 義 治	昭和40年 6 月	昭和41年 6 月	48代	古 木 勝 治	平成17年 5 月	平成18年 5 月
9 代	加 藤 義 治	昭和41年 6 月	昭和42年 5 月	49代	前 田 邦 壽	平成18年 5 月	平成19年 5 月
10代	加 藤 義 治	昭和42年 5 月	昭和43年 6 月	50代	青 木 克 喜	平成19年 5 月	平成20年 5 月
11代	加 藤 義 治	昭和43年 6 月	昭和44年 6 月	51代	中 丸 孝 志	平成20年 5 月	平成21年 5 月
12代	富 澤 晴 雄	昭和44年 6 月	昭和45年 6 月	52代	松 川 清	平成21年 5 月	平成22年 5 月
13代	富 澤 晴 雄	昭和45年 6 月	昭和46年 5 月	53代	国 兼 晴 子	平成22年 5 月	平成23年 5 月
14代	下 田 兼 治	昭和46年 5 月	昭和47年 5 月	54代	木 村 賢 一	平成23年 5 月	平成24年 5 月
15代	富 澤 晴 雄	昭和47年 5 月	昭和48年 5 月	55代	大 谷 仁	平成24年 5 月	平成26年 5 月
16代	大 谷 謙 蔵	昭和48年 5 月	昭和49年 5 月	56代	菊 地 弘	平成26年 5 月	平成27年 5 月
17代	大 谷 謙 蔵	昭和49年 5 月	昭和50年 5 月	57代	菊 地 弘	平成27年 5 月	平成29年 5 月
18代	北 島 武 司	昭和50年 5 月	昭和51年 5 月	58代	木 村 賢 一	平成29年 5 月	令和元年 5 月
19代	北 島 武 司	昭和51年 5 月	昭和52年 5 月	59代	平 田 純 治	令和元年 5 月	令和 2 年 6 月
20代	北 島 武 司	昭和52年 5 月	昭和53年 5 月	60代	井 上 貢	令和 2 年 6 月	令和 3 年 5 月
21代	高 坂 武 次	昭和53年 5 月	昭和54年 5 月	61代	吉 澤 弘	令和 3 年 5 月	令和 4 年 5 月
22代	竹 本 馬之助	昭和54年 5 月	昭和55年 5 月	62代	中 村 一 夫	令和 4 年 5 月	令和 5 年 5 月
23代	石 川 公 弘	昭和55年 5 月	昭和56年 5 月	63代	小 倉 隆 夫	令和 5 年 5 月	令和 6 年 5 月
24代	遠 藤 直	昭和56年 5 月	昭和57年 5 月	64代	青 木 正 始	令和 6 年 5 月	
25代	大 谷 昇	昭和57年 5 月	昭和58年 5 月				
26代	山 口 順 弘	昭和58年 5 月	昭和59年 5 月				
27代	藤 本 金太郎	昭和59年 5 月	昭和60年 5 月				
28代	浦 野 恒 干	昭和60年 5 月	昭和61年 5 月				
29代	遠 藤 直	昭和61年 5 月	昭和62年 5 月				
30代	高 橋 富 蔵	昭和62年 5 月	昭和63年 5 月				
31代	藤 本 金太郎	昭和63年 5 月	平成元年 5 月				
32代	小 沢 昭 治	平成元年 5 月	平成 2 年 5 月				
33代	佐々木 博太郎	平成 2 年 5 月	平成 3 年 5 月				
34代	北 島 忠 義	平成 3 年 5 月	平成 4 年 5 月				
35代	石 川 公 弘	平成 4 年 5 月	平成 5 年 5 月				
36代	真 壁 以 脩	平成 5 年 5 月	平成 6 年 5 月				
37代	高 橋 富 蔵	平成 6 年 5 月	平成 7 年 5 月				
38代	高 下 晴 明	平成 7 年 5 月	平成 8 年 5 月				
39代	高 下 晴 明	平成 8 年 5 月	平成 9 年 5 月				
40代	鈴 木 久次郎	平成 9 年 5 月	平成10年 5 月				

副 議 長

代順	氏名	就任年月	退任年月	代順	氏名	就任年月	退任年月
初代	山 名 喜代蔵	昭和34年2月	昭和34年5月	41代	中 村 晴 良	平成9年11月	平成10年5月
2代	加 藤 義 治	昭和34年5月	昭和35年7月	42代	大 木 敏 治	平成10年5月	平成11年5月
3代	中 村 常 八	昭和35年7月	昭和36年7月	43代	出 浦 經	平成11年5月	平成12年5月
4代	中 村 常 八	昭和36年7月	昭和37年7月	44代	石 井 一 夫	平成12年5月	平成13年5月
5代	加 藤 喜太郎	昭和37年7月	昭和38年5月	45代	荻 窪 幸 一	平成13年5月	平成14年5月
6代	山 名 喜代蔵	昭和38年5月	昭和39年6月	46代	松 川 清	平成14年5月	平成15年5月
7代	遠 藤 忍	昭和39年6月	昭和40年6月	47代	青 木 克 喜	平成15年5月	平成16年5月
8代	金 子 利 良	昭和40年6月	昭和41年6月	48代	中 丸 孝 志	平成16年5月	平成17年5月
9代	金 子 利 良	昭和41年6月	昭和42年5月	49代	国 兼 晴 子	平成17年5月	平成18年5月
10代	遠 藤 忍	昭和42年5月	昭和43年6月	50代	国 兼 晴 子	平成18年5月	平成19年5月
11代	下 田 兼 治	昭和43年6月	昭和44年6月	51代	大 波 修 二	平成19年5月	平成20年5月
12代	大 谷 謙 蔵	昭和44年6月	昭和45年6月	52代	大 谷 仁	平成20年5月	平成21年5月
13代	大 谷 謙 蔵	昭和45年6月	昭和46年5月	53代	菊 地 弘	平成21年5月	平成22年5月
14代	石 川 公 弘	昭和46年5月	昭和47年5月	54代	木 村 賢 一	平成22年5月	平成23年5月
15代	高 坂 武 次	昭和47年5月	昭和48年5月	55代	平 田 純 治	平成23年5月	平成24年5月
16代	北 嶋 次 郎	昭和48年5月	昭和49年5月	56代	古 澤 敏 行	平成24年5月	平成26年5月
17代	北 島 武 司	昭和49年5月	昭和50年5月	57代	窪 純	平成26年5月	平成27年4月
18代	竹 本 馬之助	昭和50年5月	昭和51年5月	58代	吉 澤 弘	平成27年5月	平成29年5月
19代	遠 藤 直	昭和51年5月	昭和52年5月	59代	山 田 己智恵	平成29年5月	平成30年5月
20代	山 口 スエ子	昭和52年5月	昭和53年5月	60代	二 見 健 介	平成30年5月	平成31年4月
21代	中 村 昌 一	昭和53年5月	昭和54年5月	61代	赤 嶺 太 一	令和元年5月	令和2年6月
22代	山 口 順 弘	昭和54年5月	昭和55年5月	62代	小 倉 隆 夫	令和2年6月	令和3年5月
23代	大 谷 昇	昭和55年5月	昭和56年5月	63代	古 谷 田 力	令和3年5月	令和4年5月
24代	藤 本 金太郎	昭和56年5月	昭和57年5月	64代	青 木 正 始	令和4年5月	令和5年5月
25代	山 崎 清	昭和57年5月	昭和58年5月	65代	鳥 淵 優	令和5年5月	令和6年5月
26代	佐々木 博太郎	昭和58年5月	昭和59年5月	66代	町 田 零 二	令和6年5月	
27代	大 谷 広 吉	昭和59年5月	昭和60年5月				
28代	高 橋 富 蔵	昭和60年5月	昭和61年5月				
29代	安 藤 富 夫	昭和61年5月	昭和62年5月				
30代	北 島 忠 義	昭和62年5月	昭和63年5月				
31代	山 崎 清	昭和63年5月	平成元年5月				
32代	佐々木 博太郎	平成元年5月	平成2年5月				
33代	関 水 正 雄	平成2年5月	平成3年5月				
34代	真 壁 以 脩	平成3年5月	平成4年5月				
35代	中 村 晴 良	平成4年5月	平成5年5月				
36代	土 屋 孝 夫	平成5年5月	平成6年5月				
37代	高 下 晴 明	平成6年5月	平成7年5月				
38代	伊 東 孝 雄	平成7年5月	平成8年5月				
39代	伊 東 孝 雄	平成8年5月	平成9年5月				
40代	村 越 剛	平成9年5月	平成9年10月				

都 市 比 較

都市名	面積 (km ²) (令和6年10月 1日現在)	人口(令和7年1月1日現在の推計人口)				産業別
		世帯数	総数	男	女	人口 総数
横浜市	438.23	1,819,315	3,769,584	1,857,904	1,911,680	1,688,272
川崎市	142.96	784,602	1,551,662	780,795	770,867	717,354
相模原市	328.91	348,868	723,407	360,043	363,364	322,184
横須賀市	100.81	165,983	370,000	184,112	185,888	172,129
平塚市	67.83	118,443	258,193	128,888	129,305	110,809
鎌倉市	39.66	77,144	170,182	79,834	90,348	75,824
藤沢市	69.56	204,197	443,696	218,687	225,009	198,078
小田原市	113.60	85,792	185,750	89,719	96,031	88,058
茅ヶ崎市	35.70	108,318	245,270	118,718	126,552	105,229
逗子市	17.28	25,030	55,305	25,799	29,506	24,940
三浦市	32.05	17,075	39,386	18,821	20,565	19,391
秦野市	103.76	73,656	160,537	81,091	79,446	71,612
厚木市	93.83	106,318	223,544	115,192	108,352	102,229
大和市	27.09	117,266	244,349	121,495	122,854	100,085
伊勢原市	55.56	47,596	101,133	51,146	49,987	46,751
海老名市	26.59	63,186	141,335	70,894	70,441	61,753
座間市	17.57	62,778	131,783	65,431	66,352	56,009
南足柄市	77.12	16,708	39,243	19,133	20,110	19,326
綾瀬市	22.14	36,197	82,811	41,908	40,903	36,070

(注1) 境界が一部未確定のため参考値となります。

(注2) 産業数比率のうち第1次産業～第3次産業は、分類不能を除いて算出しています。また、四捨五入の関係で合計が100%にならないことがあります。

都市名	事業所(令和3年)		商業(令和3年)			工業	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	年間商品販売額 (百万円)	事業所数	従業者数
横浜市	117,352	1,574,523	19,245	237,013	10,721,961	2,286	89,055
川崎市	41,601	568,003	6,353	82,987	3,194,674	1,032	47,466
相模原市	21,956	255,575	3,453	38,487	1,159,296	801	34,813
横須賀市	11,867	129,665	2,160	19,864	502,168	203	14,389
平塚市	9,416	114,711	1,706	17,103	598,154	329	19,144
鎌倉市	7,207	69,740	1,407	11,035	204,231	63	6,705
藤沢市	13,276	168,438	2,378	25,866	779,509	271	23,569
小田原市	7,628	86,292	1,520	13,444	338,549	186	9,657
茅ヶ崎市	6,371	60,661	1,049	10,263	221,585	98	6,103
逗子市	1,850	14,426	312	2,457	43,481	7	106
三浦市	1,691	13,535	339	2,956	83,101	30	436
秦野市	4,462	53,853	806	8,084	164,629	205	12,885
厚木市	9,574	156,119	1,685	18,237	1,081,650	335	19,035
大和市	7,028	78,277	1,135	14,177	424,053	186	8,755
伊勢原市	3,476	41,814	581	6,602	214,314	123	6,077
海老名市	4,432	62,085	833	10,616	350,450	126	6,575
座間市	3,334	42,495	565	7,024	340,146	129	7,426
南足柄市	1,245	14,050	186	1,595	28,234	49	4,179
綾瀬市	2,825	35,449	361	4,065	154,580	316	9,660

資料：総務部総務課（国土地理院、e-Stat、神奈川県HPを基に集計）

就業者(令和2年国勢調査)									都市名
第1次産業数		第2次産業数		第3次産業数		分類不能			
人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率		
7,482	0.5	301,600	18.5	1,325,603	81.1	53,587	3.2	横浜市	
2,625	0.4	126,522	18.3	563,476	81.4	24,731	3.4	川崎市	
1,896	0.6	70,092	22.6	238,594	76.8	11,602	3.6	相模原市	
1,552	0.9	28,631	17.1	136,821	81.9	5,125	3.0	横須賀市	
1,602	1.5	29,027	27.1	76,406	71.4	3,774	3.4	平塚市	
528	0.7	12,010	16.3	60,949	82.9	2,337	3.1	鎌倉市	
1,999	1.0	41,742	21.8	147,873	77.2	6,464	3.3	藤沢市	
2,092	2.5	19,847	23.4	63,050	74.2	3,069	3.5	小田原市	
854	0.8	21,478	21.1	79,522	78.1	3,375	3.2	茅ヶ崎市	
107	0.4	3,449	14.2	20,696	85.3	688	2.8	逗子市	
2,094	11.2	3,014	16.2	13,547	72.6	736	3.8	三浦市	
1,269	1.8	18,919	27.2	49,289	70.9	2,135	3.0	秦野市	
1,230	1.2	25,654	25.9	72,211	72.9	3,134	3.1	厚木市	
462	0.5	20,685	21.4	75,606	78.1	3,332	3.3	大和市	
1,025	2.3	11,272	24.9	32,925	72.8	1,529	3.3	伊勢原市	
685	1.1	15,558	26.0	43,674	72.9	1,836	3.0	海老名市	
304	0.6	12,177	22.5	41,735	77.0	1,793	3.2	座間市	
530	2.8	5,796	30.6	12,640	66.6	360	1.9	南足柄市	
413	1.2	10,260	29.5	24,088	69.3	1,309	3.6	綾瀬市	

(令和3年)	農業(令和2年)			都市名
製造品出荷額等 (百万円)	農業経営体数 (経営体)	基幹的農業従事者数 (人)	経営耕地面積 (ha)	
3,516,454	1,931	3,133	1,527	横浜市
3,399,874	590	955	310	川崎市
1,250,886	488	507	376	相模原市
510,233	333	636	357	横須賀市
1,037,046	845	1,076	880	平塚市
248,905	66	129	58	鎌倉市
1,393,310	604	1,024	566	藤沢市
571,367	991	1,273	871	小田原市
263,923	313	474	245	茅ヶ崎市
893	2	X	X	逗子市
17,329	672	1,653	908	三浦市
574,298	525	720	427	秦野市
618,682	682	801	530	厚木市
283,986	161	216	120	大和市
226,839	543	718	572	伊勢原市
271,482	298	478	313	海老名市
209,976	127	128	98	座間市
209,610	481	447	316	南足柄市
333,954	174	253	160	綾瀬市

大和市年表（市制施行以降）

年次	事項
昭和34年	2月 1日市制施行 初代市長に高下重平氏が就任 林間小学校で市立学校最初の完全給食開始 4月 都市計画税の徴収開始 5月 第2代市長に高下重平氏が就任 7月 国民年金制度開始 市営プールを開設
35年	3月 旧軍施行の土地区画整理事業が完了 4月 光丘中学校が開校 大和市商工会が発足 10月 第9回国勢調査実施 人口40,975人となる。 12月 新市建設10か年計画策定
36年	3月 光丘中学校の鉄筋防音化校舎が完成 ごみ焼却場が完成
37年	11月 大和市公共土地公社を設立
38年	4月 県立大和高校が開校 5月 第3代市長に石井正雄氏が就任
39年	2月 市制施行5周年記念式典を挙行政 消防本部及び消防署が発足 市民会館が開館 市歌を制定 9月 米軍ジェット機が墜落 市議会臨時会厚木基地移転を議決 10月 消防署で救急業務を開始
40年	3月 し尿処理場が完成 4月 第1次住居表示（鶴間1丁目、西鶴間1～3丁目、南林間1～8丁目）を実施 大和保健所が開設 県立大和運動場が完成 10月 第10回国勢調査実施 人口64,991人となる。
41年	2月 第2次住居表示（中央、大和東、大和南、深見台）を実施 4月 大和市教育目標を制定 6月 福田の“たぶの木”を市の文化財に指定 9月 公共下水道の長期施設整備計画（981.25ha）を策定 11月 第3次住居表示（鶴間2丁目、林間1～2丁目、中央林間1～6丁目）を実施
42年	3月 北大和小学校、深見小学校、渋谷中学校の校舎を鉄筋防音化に改築 4月 西鶴間小学校が開校 ごみの無料収集制度を開始 5月 第4代市長に石井正雄氏が就任 7月 上草柳の“しらかし林”が県の文化財に指定 8月 下水道受益者負担金の徴収を開始
43年	2月 市立病院を鉄筋防音化に改築移転 光丘中学校体育館が完成 3月 桜丘小学校、渋谷小学校の校舎を鉄筋防音化に改築 4月 交通災害共済制度を開始 消防署北分署を開設 東名高速道路（東京～厚木間）が開通 5月 渋谷保育園が開園 7月 社会福祉会館が開館 11月 第1回産業まつりを開催
44年	1月 福田神社の“はやし獅子舞”を市の無形文化財に指定 市の木を桜（山ざくら）、市の花を菊（野ざく）にきめる。 2月 市制施行10周年記念式典を挙行政 4月 大和駅周辺が市内で初めて公共下水道処理区になる。 8月 渋谷文化会館が開館 市立図書館が渋谷小学校から渋谷文化会館へ移転

年 次	事 項
昭和45年	2月 消防署南分署を開設 北部第1土地区画整理事業の実施に伴い、町名地番を変更（つきみ野1～8丁目） 4月 福祉施設松風園が開園（旧少年の町） 10月 第11回国勢調査実施 人口102,760人となる。
46年	2月 新大和音頭を制定 4月 緑野小学校、つきみ野中学校が開校 5月 第5代市長に石井正雄氏が就任 6月 福田に新ごみ焼却場が操業を開始 7月 林間文化会館が開館 12月 海上自衛隊航空部隊が厚木基地へ移駐
47年	3月 南部第1土地区画整理事業の実施に伴い、町名地番を変更（柳橋1～2丁目） 4月 上和田小学校が開校 緑野保育園が開園 市民会館を中央文化会館に組織（名称）変更し、同時にホールを併設 市立図書館が渋谷文化会館から中央文化会館へ移転
48年	1月 大和市学校建設公社を設立 3月 公共土地公社を土地開発公社に組織変更 4月 柳橋小学校が開校 子安児童館が開館 北部学校給食共同調理場が完成 若葉保育園が現在地へ移転 5月 第1回緑化まつりを開催 米軍イーストキャンプが市へ返還される。 6月 上和田児童館が開館
49年	3月 市制施行15周年並びに市庁舎（現在地）落成記念式典を挙行 やまと公園完成 4月 大和連絡所を開設 下和田小学校、南林間小学校が開校 5月 中央林間、桜ヶ丘連絡所を開設 6月 公所児童館が開館 11月 下草柳土地区画整理事業の実施に伴い、町名地番を変更（草柳1～3丁目）
50年	4月 福田小学校、鶴間中学校が開校、深見台保育園が開園 大和市商工会館が落成 5月 第6代市長に遠藤嘉一氏が就任 10月 第12回国勢調査実施 人口145,881人となる。
51年	4月 大野原小学校、引地台中学校が開校 9月 南部学校給食共同調理場が完成 10月 大和市福祉の日（毎年10月15日）を制定 11月 田園都市線が「つきみ野駅」まで開通
52年	4月 草柳保育園が開園 環境管理センターを開設 県立大和南高校が開校 5月 共同授産センターを開設
53年	2月 南部第3土地区画整理事業の実施に伴い、町名地番を変更（代官1～4丁目） 4月 下福田小学校が開校 5月 第1回“大和市民まつり”開催 福田新町児童館開館
54年	2月 市制施行20周年記念式典を挙行 市民憲章を制定 4月 下和田児童館、上草柳コミュニティセンターが開館 大和東小学校が開校 福田保育園が開園 広報無線放送開始 障害福祉センター「松風園」が南林間から現在地（西鶴間）へ新築移転 5月 第7代市長に遠藤嘉一氏が就任 第4次住居表示（上草柳1～4丁目）を実施 緑野東児童館開館 12月 インドシナ難民「大和定住促進センター」を設置

年 次	事 項
昭和55年	4月 消防庁舎が新築移転 消防署柳橋出張所を開設 文ヶ岡小学校、上和田中学校が開校 若草保育園が開園 7月 引地台公園野球場、桜森スポーツ広場が完成 市営つきみ野住宅中高層の耐火構造への建替工事完成 8月 大和県税事務所が開設 第5次住居表示（桜森1～3丁目）を実施 中部学校給食共同調理場完成 10月 第13回国勢調査実施 人口167,935人となる。
56年	4月 南林間中学校、大和東高校が開校 市道南林間東線が開通 高齢者生きがい事業団が発足 6月 コミュニティセンター下鶴間会館が開館 8月 第6次住居表示（上草柳5～9丁目、西鶴間4～5丁目）を実施 9月 山谷スポーツ広場が完成 11月 市内中央林間在住の森野米三氏（東大名誉教授）が文化功労者に。
57年	1月 中部下水処理場増設分（処理能力5万トン）が完成 3月 市営つきみ野住宅建替工事（第2期分）完成 宮久保中央公園が完成 4月 「明るくたくましい青少年が育つ都市」宣言 市立図書館が中央文化会館内から新築移転 中央林間小学校が開校 コミュニティセンター西鶴間会館、下福田会館が完成 広域大和斎場が開業 8月 第7次住居表示（区域拡張＝南林間6～7丁目、林間1～2丁目、西鶴間2丁目、同5丁目、新規施行＝南林間9丁目、西鶴間6～8丁目）を実施
58年	4月 下福田中学校が開校 コミュニティセンター下草柳会館、桜ヶ丘会館が開館 5月 第8代市長に遠藤嘉一氏が就任 「やまと冒険の森」がオープン 7月 大和市が「障害者福祉都市」に指定される。 8月 第8次住居表示（深見西1～4丁目、深見東1～3丁目、柳橋4丁目）を実施
59年	3月 南部第二土地区画整理事業の終了に伴い、町名地番を変更（福田1～8丁目、代官1丁目、柳橋3, 4丁目） 4月 引地台小学校が開校 渋谷保育園が新築移転 県立大和運動場が市へ移管 5月 勤労福祉会館が開館 8月 第9次住居表示（下鶴間1, 2丁目、深見西6～8丁目）を実施 11月 コミュニティセンター鶴間会館が開館 桜丘文化会館が開館
60年	4月 大和厚木バイパス一部開通 コミュニティセンター上和田会館、深見台会館が開館 5月 引地台野球場ナイター設備が完成 6月 ビデオ広報放映開始 上野遺跡から出土した土器片が日本最古期の物と判明 7月 下福田野球場が完成 9月 「平和都市」宣言 10月 第14回国勢調査実施 人口177,669人となる。 12月 相模鉄道本線大和駅周辺立体交差事業の着手（地下化「協定締結」）
61年	4月 コミュニティセンター桜森会館が開館 県立大和西高校が開校 5月 引地台公園に売店がオープン 6月 市の人口が18万人を突破する。 7月 渋谷西スポーツ広場オープン 10月 草柳に不燃物リサイクル施設が完成
62年	4月 大和スポーツセンターが開館 つきみ野文化会館が開館 コミュニティセンター福田会館、緑野会館が開館 5月 第9代市長に井上孝俊氏就任 11月 第37回神奈川県統計大会が大和市中央文化会館で開催

年 次	事 項
昭和63年	4月 大和市保健福祉センターがオープン コミュニティセンター下和田会館が開館 大和南一、二丁目に「みずき通り」が完成 8月 泉の森フェスティバル開催
平成元年	2月 市制施行30周年記念式典を挙行 ー各種記念事業実施ー 平和モニュメント像「母と子の愛ー大空へ」除幕 3月 横浜博覧会への参加（10月まで） コミュニティセンター公所会館が開館 4月 コミュニティセンター深見南会館が開館 5月 第1回“まほろばサミット”開催 市の人口が19万人を突破する。 6月 土曜日閉庁の導入（第2、第4） 大和市民朝霧市を開催 7月 国際シンポジウム開催 9月 大和薪能鑑賞会開催
2 年	3月 大和スポーツセンター陸上競技場が完成 4月 社団法人大和市シルバー人材センター発足 9月 市庁舎電話設備が直通ダイヤル式に切りかわる。 10月 第15回国勢調査実施 人口194,866人となる。
3 年	2月 コミュニティセンター中央林間会館、深見北会館、柳橋会館が開館 3月 引地台温水プールが完成 5月 第10代市長に井上孝俊氏が就任 かながわ都市緑化大和フェア・グリーンアップ大和'91開催 9月 大和誕生100年を記念し、各種行事が開催される。 11月 中部処理場分場が完成
4 年	3月 交通災害見舞金制度が発足（交通災害共済は廃止に） 4月 市の人口が20万人を突破する。 7月 大和市国際化協会が発足 8月 まほろば連邦子どもサミット開催
5 年	3月 財団法人大和市みどりのまちづくり振興財団を設立 8月 相鉄線大和駅が地下に（6か所の踏切を廃止） 11月 大和市立病院が新病院で診療を開始する。 コミュニティセンター草柳会館が開館（20館計画終了）
6 年	2月 大和市勤労者サービスセンターが設立総会 大和市消防が発足30年 3月 保健福祉計画、高年老保健福祉計画を策定 4月 大和商工会が大和商工会議所に 新ごみ処理施設が稼働 5月 中央林間に茶室と書院が完成 泉の森に郷土民家園を開設 “大和市民まつり”を“大和まつり”と名称変更し開催 7月 大和市国際化協会が財団法人化 8月 大和市ごみ処理基本計画を策定 引地台温水プール利用者が100万人を突破 10月 渋谷（北部地区）土地区画整理事業が完了、「渋谷」の町名が誕生 11月 大和駅改築事業が完了 大和駅に広報コーナー開設

年 次	事 項
平成7年	1月 阪神・淡路大震災へ職員派遣 2月 いじめ110番開設 3月 大和斎場式場棟オープン 4月 大和市立病院駐車場全面オープン 5月 第11代市長に土屋侯保氏が就任 7月 大和市行政改革推進本部を設置 8月 かながわ・ゆめ国体大和市実行委員会発足 9月 終戦50年大和市平和都市宣言10周年記念事業開催 10月 第16回国勢調査実施 人口203,920人となる。 大和市役所分庁舎オープン まほろば連邦防災応援協定締結 大和市生涯学習基本構想を策定 大和市福祉の日20周年記念事業開催 11月 都市計画マスタープランをインターネットに公開
8年	5月 「大和市スポーツダンス協会」が発会式を開催 7月 厚木基地の跡地利用を考える市民懇話会を設置 大和市防犯協会を設置 大和市ホームページを公開 11月 避難所にランドマークを表示「災害時に空から救援活動を支援」 大和ラジオ放送株式会社設立
9年	2月 大和市環境政策のあり方検討懇話会設置 5月 FMやまと開局 まほろば情報コーナー開設 お役所しごと改善提案
10年	9月 市の人口が21万人を突破する。 10月 第53回“国民体育大会”開催（種目：高校野球、バトミントン）
11年	3月 地域振興券を交付 4月 市内72公共施設と市民を結ぶ情報基盤整備が完了 5月 第12代市長に土屋侯保氏が就任 12月 大和市子育て支援センター（草柳保育園）オープン
12年	3月 大和市環境配慮指針を制定 下福田南なかよし公園オープン 4月 消防署北分署庁舎完成 大和市中心市街地活性化基本計画を策定 10月 第17回国勢調査実施 人口212,761人となる。 大和市第6次総合計画「第2期基本計画」を策定 知的障害者更正（入所）施設「福田の里」開所 11月 特例市に移行 「やまと携帯市役所”親切丁寧っと”」を開設
13年	2月 「やまと市民大学」が開校 大和市民証の発行 7月 大和市観光協会設立 10月 「まごころ地域福祉センター」オープン 11月 防災機能を持った「リラの丘公園」オープン
14年	3月 ISO14001の認証を取得 桜森わいわい公園オープン 下和田小学校閉校 4月 ICカード(大和市民カード)事業を開始 9月 上和田小学校の校庭を芝生化 10月 コミュニティバスの実験試行開始
15年	3月 南林間むつみ公園オープン 4月 コミュニティバスの利用者が10万人を突破する。 散策路「桜森いこなど」完成 5月 第13代市長に土屋侯保氏が就任 8月 住民基本台帳ネットワークシステム2次稼働開始 12月 「大和地域福祉計画」を策定

年 次	事 項
平成16年	1月 大和駅東側プロムナードに市営自転車駐車場オープン 2月 市制施行45周年記念式典を挙行 市役所窓口の土・日曜日一部開庁 4月 最後のまほろばサミット「第16回まほろばサミット in 福岡」が福岡県大和町で開催 「環境立市 大和」を宣言 コミュニティバス本格運行開始 5月 第27回“大和まつり”を“大和市民まつり”と名称変更し開催 市の人口が22万人を突破する。 6月 交通バリアフリー基本構想策定 大和市立病院が「病院機能評価認定病院」として認定 7月 (財)大和市国際化協会設立10周年 10月 「大和市民活動センター」オープン 11月 「大和環境立市フェア2004」開催 「やまと おひさま発電所」完成
17年	3月 「大和市次世代育成支援行動計画」（やまと子どもプラン）を策定 4月 「大和市自治基本条例」を施行 7月 「神奈川電子自治体共同運営サービス」（電子申請サービス）を開始 「大和市子ども読書活動推進計画」を策定 9月 大和市平和都市宣言20周年記念事業開催 10月 第18回国勢調査実施 人口221,220人となる。
18年	4月 「第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定 「下鶴間ふるさと館」オープン 「大和市住民投票条例」を施行 障害者自立支援センター新施設で業務開始 市立施設に指定管理者制度を導入 7月 家庭系有料指定ごみ袋制度を導入 「燃やせるごみ・燃やせないごみ」の戸別収集がスタート 10月 「大和市情報都市マネジメントプランver.2」を策定 11月 「市民会議 シチズン・ कांग्रेस」を開催
19年	1月 「大和市公立保育園民営化基本計画」を策定 4月 「大和市地域医療センター」新築、移転 5月 第14代市長に大木哲氏が就任 7月 初代副市長に平松博氏が就任 9月 「まほろば市民債」を発行 10月 大和市つどいの広場「こどもーる」オープン
20年	3月 「大和市環境基本計画」を改定 4月 副市長に井上昇氏が就任 宇都宮記念公園「みどりの森」オープン 「やまとeモニター」スタート 9月 WHOが提唱する健康都市連合に加盟 協働事業提案制度の仕組みを変更 10月 「大和市路上喫煙の防止に関する条例」を施行 「大和市景観計画・景観条例」を施行 健康都市シンボルマークが決定
21年	1月 市役所本庁舎前広場を「市役所だれでも広場」にリニューアル 2月 「健康都市 やまと」宣言 市制施行50周年を記念して各種事業を実施 4月 市役所の組織改正を実施 「路上喫煙重点禁止区域」での罰則適用を開始 7月 「ゆとりの森」修景池ゾーンがオープン 11月 韓国・光明市との友好都市提携の締結 12月 平和市長会議への加盟

年 次	事 項
平成22年	3月 高座渋谷駅前複合ビル「IKOZA（イコーザ）」内に「渋谷学習センター」がオープン 大和市と藤沢市による都市連携懇談会を開催 4月 副市長に清水和男氏が就任 大和市次世代育成支援行動計画（後期計画）「やまと げんきっこ プラン」を策定 市政情報モニター「やまとビジョン」を設置 8月 米海軍厚木航空施設と防災に関する覚書を締結 10月 下鶴間・南林間の一部を中央林間西に住居表示を実施 第19回国勢調査実施 人口228,180人になる。 「大和市ポイ捨て等の防止に関する条例」を施行 11月 ノーベル化学賞受賞 根岸英一さんに「名誉市民」の称号を贈呈
23年	3月 東日本大震災が発生 帰宅困難者への対応や被災地の支援などをいち早く開始 4月 大和市イベントキャラクター「ヤマトン」をお披露目 5月 第15代市長に大木哲氏が就任 9月 なでしこジャパン大野忍・川澄奈穂美・上尾野辺めぐみ3選手に「大和なでしこ賞」を授賞 凱旋パレードを実施 10月 「大和市暴力団排除条例」を施行 市の人口が23万人を突破 23万人目の市民に「23万人市民の証」などを贈呈 11月 「やまと根岸通り」が誕生
24年	1月 栃木県足利市と災害時相互応援協定を締結 4月 林間小・南林間小が読書活動で文部科学大臣表彰を受賞 8月 千葉県我孫子市と災害時相互応援協定を締結 「健康都市連合日本支部大会」を大和市で開催 9月 大和市立病院が21年ぶりに黒字化 10月 三重県松阪市と災害時相互応援協定を締結 11月 「やまと自転車憲章」を制定
25年	1月 大和市医師会、大和歯科医師会、大和綾瀬薬剤師会と災害時における医療救護活動に関する協定を締結 2月 日本郵便株式会社大和郵便局と道路損傷等による危険箇所の情報提供の協力に関する協定を締結 7月 大和市病児保育室「ぽかぽか」オープン 外国人住民の住基ネット運用を開始 10月 「ぶらっと中央林間」を開設 11月 三機工業株式会社と災害時における帰宅困難者一時滞在施設の提供に関する協定を締結 高知市と災害時等相互応援に関する協定を締結
26年	2月 全公用車へのドライブレコーダーの設置を開始 4月 「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」を宣言 副市長に伊部啓之氏が就任 市立病院の救急棟が全面稼働 9月 スタンドパイプ応急給水用資機材をすべての避難生活施設に配備 10月 健康都市連合国際大会において国内初となる「健康都市優秀インフラストラクチャー賞」を受賞 中央林間西側地域と相模大塚地域で新コミュニティバス「やまとんGO」の本格運行を開始
27年	2月 合計特殊出生率が県内市で第1位 4月 親子de(で)健康診断を開始 5月 第16代市長に大木哲氏が就任 放課後寺子屋やまとを全市立小学校に拡大 7月 「大和ゆとりの森」に大規模多目的スポーツ広場などが完成 10月 第20回国勢調査実施 人口232,922人になる。 11月 「健康寿命をのばそう!アワード」で県内自治体で初となる厚生労働省健康局長優秀賞を受賞

年 次	事 項
平成28年	1 月 コンビニエンスストアにおける住民票の写しなどの交付サービスを開始 3 月 直木三十五賞受賞の青山文平氏に「市民栄誉賞」を贈呈 4 月 保健師・管理栄養士の訪問活動を市内全域で実施 8 月 第7回健康都市連合国際大会において総合表彰と部門表彰を受賞 9 月 「認知症1万人時代に備えるまち やまと」を宣言 NP0法人クライシスマッパーズ・ジャパンと災害時のドローン活用方法について 応援協定の締結 11月 文化創造拠点シリウス開館 WHO第9回ヘルス・プロモーション国際会議に招待され、「健康都市やまと」の取 り組みを発表
29年	1 月 「ヤマトン健康ポイント」の取り組みを開始 3 月 長野県松本市と災害時相互応援協定を締結 4 月 市立病院の小児救急が24時間365日体制になる。 8 月 全国自治体初の防犯と防災のスマホアプリ「やまとSOS支援アプリ」のサービス 開始 11月 「はいかい高齢者個人賠償責任保険事業」を開始 シリウス開館1年で累計来館者数300万人を達成 富山県高岡市と災害時相互応援協定を締結
30年	4 月 副市長に金子勝氏が就任 市民活動拠点ベテルギウスが開館 中央林間東急スクエア内に中央林間図書館、子育て支援施設、中央林間分室が オープン 県内自治体で初めていじめ通報アプリ「STOP it」を導入 「70歳代を高齢者と言わない都市 やまと」を宣言 6 月 渋谷南部地区区画整理事業の実施に伴い、町名地番を変更（渋谷4～8丁目） 8 月 市民交流拠点ポラリスがオープン 10月 下鶴間の一部の住居表示を実施（中央林間6～9丁目）
31年	3 月 南林間の大和圃場跡地に防災機能を備えた「やまと防災パーク」オープン 4 月 市立病院の脳神経内科において認知症外来を開始 旧林間学習センター施設に大和市特別支援教育センター「アンダンテ」開設 新たな学びの場「健康都市大学」開講
令和元年	5 月 第17代市長に大木哲氏が就任 10月 ひきこもりの相談窓口「こもりびと支援窓口」開設
2 年	1 月 シリウス累計来館者数1,000万人を突破 認知症に関する総合相談窓口「認知症灯台」を保健福祉センター内に開設 3 月 市域の歴史を総覧した「大和市の歴史」を刊行 4 月 新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、緊急事態宣言が全国に発令 （5月に解除） 大和市おもいやりマスク着用条例を施行 大和ウォークスルー PCR検査プレイスを設置 7 月 大和市歩きスマホの防止に関する条例を施行 10月 第21回国勢調査実施 市の人口が 239,169人になる。
3 年	3 月 市の人口が24万人を突破 24万人目の市民に「24万人市民の証」などを贈呈 4 月 公私連携型子育て支援施設「こどもの城」がオープン 5 月 副市長に小山洋市氏が就任 7 月 終活支援条例を施行 9 月 認知症1万人時代条例を施行 11月 第9回健康都市連合国際大会において「優秀インフラストラクチャー賞」を受賞

年 次	事 項
令和4年	1月 令和3年中の市の人口増加数が全国第8位 4月 県内自治体で初めて不登校特例校引地台中学校分教室を開室 県内自治体で初めて全市立小・中学校にオンライン学習教材を導入 6月 おひとりさま支援条例を施行 9月 こもりびと支援条例を施行
5年	2月 やまと公園をリニューアル 5月 第18代市長に古谷田力氏が就任 副市長に樋田久美子氏が就任 7月 大和高座広域連携懇談会開始
6年	1月 令和6年能登半島地震発生 被災地への支援を実施 2月 海老名市、座間市、綾瀬市との「パートナーシップ宣誓制度に係る自治体間連携に関する協定」を締結 芥川賞作家・市川沙央氏に市民栄誉賞を授与 山口県岩国市と災害時相互応援協定を締結 3月 中央森林東側地区に関する都市計画決定（変更）の告示 7月 海老名市、座間市、綾瀬市で運用している消防通信指令事務協議会に大和市が加わり、「県央東部消防通信指令事務協議会協議書」に調印